

めるに至つた。然し抗生物質の作用が去ると再び腸内細菌が出現し、而も大腸菌は使用前のものと同じ菌であることが多い。ペニシリン單獨使用の場合は大腸菌の消失或いは減少は見られない。

6) その他腔内挿入薬ペニギン、ペニシリン・トリコマイシン腔錠、ペニシリン腔坐薬を使用した場合のカンディダ出現状況を述べる。

5. トリコモナス腔炎と再發、ことに腔トリコモナスの組織内侵入について

(東大) 篠塚 昭夫

現在迄に本症患者400餘例を治療し、子宮腔部糜爛を合併するものは極めて難治で再發も多く、且つ本症腔部糜爛組織内に腔トリコモナス(以下腔トと略記)と略々同大なエオジンで赤染する圓形物質の出現を認め、其の本體を追究した結果、ト腔炎、殊に其の再發と密接な関係を有することを推定し得た。

即ち外來を訪ずれた腔部糜爛患者の局所組織の1部を診査切除し、10%ホルマリン固定パラフィン包埋、ヘマトキシリンエオジン染色により、粘膜下にエオジンで赤染する無構造の圓形物質を認め、而もそれはト腔炎を合併する場合に極めて多く、現在迄に證明し得たもの44例、其中、帶下中に腔トを検索し得た39例中、36例に陽性であり、陰性3例中2例は長期の検索不可能だつた例である。以上の如く本小體陽性の場合には帶下中には殆ど毎常腔トを發見出來たのであつて、この事は本小體と腔トとの間に密接な関係があることを暗示するものと云うべきである。

本小體の染色能度は硝子様物質或は、ラッセル氏小體(以下ラ氏小體と略記)のそれにほぼ一致するが、1部にラ氏小體と異なり其の内部に不鮮明な有形物質を有するもの、或は變形しているものが見られ、又鐵ヘマトキシリン染色でもラ氏小體のように一様でなく顆粒状に染まるものも見られる。

腔トは生理食鹽水中では鞭毛を有し、活潑に運動するが、生活環境(pHの變化、抗ト薬劑の注入)に應じ球形となり、又その塗抹標本を組織切片標本作成の場合と全く同一過程の下に固定染色した所、エオジンで赤染し、又染色態度も上述の組織内に見られたものとほぼ同一であつた。以上から本小體は、(1)腔トの所謂永久型、或は變性したもの、(2)形質細胞より發生したラ氏小體の孰れかであると考えられる。依つて更に其の本體を追究するため本症に子宮筋腫を合併した患者の剔除子宮腔部糜爛組織から腔トの培養を試みた結果之に成功し、斯く

して本小體は腔トが何らかの形で組織内に侵入したものであることをほぼ明らかにした。組織内に侵入した腔トは1部は變性し、1部は所謂永久型或は生活環境に應じ鞭毛型となり、又此等の慢性炎症により、その防禦機序として形質細胞が出現し、ラ氏小體が認められる様になるとも考えられる。孰れにしても本小體が子宮腔部組織内に檢出される場合には、本症は極めて難治で、屢々再發し従つて治療上にも重要な意義を有するものと考えられる。

結 論

1) ト腔炎患者腔部組織よりト腔炎、殊に其の再發と密接な関係があると思われる1小體を發見し、その大部分が該組織内に侵入した腔トの所謂永久型であるべきことを推定し得た。

2) 他方ト腔炎患者の腔部組織より、腔トの培養に成功し、その組織内侵入の可能性をほぼ明らかにするを得た。

6. 腔トリコモナス症の治療法の檢討

(仙台日赤) 高橋 通夫

(東北大) 大川知之、武田正美、布施昌子

帶下疾患の原因の大部分を占めるトリコモナス腔炎は古來より幾多の治療法、治療薬があり、又近時種々抗生物質等の化學療法が發達したにも拘らず、尙治愈率は50%内外を示している事實に鑑み、各種治療薬の優劣と使用方法とを位相差顯微鏡を用いて直接觀察によつて検討した。

1) 治療薬：一般消毒劑の洗滌濃度に於けるトリコモナスの運動停止時間を細胞間トリコモナス(細胞間「ト」と略す)と非細胞間トリコモナス(自由「ト」)について比較すると過マンガン酸カリ、クレゾール、石炭酸、昇汞水、マーキロクロム、オスパンの細胞間「ト」では夫々24/30、~30、1/30//~3、5/5/30//、4/30//~5/30//、5/14/30//で自由「ト」では夫々2/50//~24、3/30、1/2/20//、1/2、1/30//~3/30//、2/50//~5/50//であり、明らかに細胞間「ト」は自由「ト」に比べて約2~3倍作用時間が遅れる。又各種の洗滌液の優劣の差は餘り認められない。次に各種薬劑の細胞間「ト」及び自由「ト」との運動停止時間を比較するとカルバミゼン、カルバミゼン腔錠、ペニギン、グアノフラシン、オーレオマイシン(パラペン含有)の細胞間「ト」では夫々15/30、5/19、~30、15/30、15/30//であり、自由「ト」では35//~2、30//~1/50//、5/9、1/30//~4、30//~2//で細胞間「ト」は自由「ト」に比べて約15倍作用時間が遅れる。この